



常総環境センターが危機的状況  
ごみの減量化・分別にご協力ください!



(写真上) 不燃ごみを手で選別しています。危険なものを取り除いた後、機械を使って再利用できるものと焼却するものに分けます。(写真下) 圧縮した空き缶のブロック。空き缶は再利用できるため、ブロック状に圧縮した後リサイクル業者に引き渡します。

可燃ごみを貯めているピット。ごみの増加により、ごみピットの容量が限界に達しているため、今後ごみの処分ができなくなる恐れがあります。

常総環境センターは、常総広域圏（常総市・守谷市・つくばみらい市・取手市）のごみを処理する施設です。常総環境センターのごみ処理能力は年間7万トンですが、令和元年度以降、焼却量はこの限界値に迫る逼迫した状態となっています。

このような状態が続くと、ごみが処分できず、皆さんの生活に支障をきたす恐れがあります。一人一人が危機感を持ってごみ減量化・分別に取り組むことが大切です。ご協力をお願いします。

☎ 環境対策課 内線 1419

## 常総環境センターの現状

可燃ごみの中に燃やすことができない金属類のごみが紛れ込んでいるなど、処理困難物の混入で施設が損傷する事態が相次いでいます。施設の故障の原因となりますので、処理困難物を混入させないようにしましょう。

■ 年度別ごみ処理量（ごみ処理能力：年間7万トン） 単位：トン

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
6万5,304	5万8,551	6万9,779	6万9,612	6万7,600

※平成30年度ごみ処理量の減少は、焼却炉の故障によるものです。

現在のような余力のない状態で突発的な事故・故障が発生すると、対応が難しく危険です。安定的な運転を続けるためにも、まずは家庭でできる身近なことから、ごみの減量と分別にご協力をお願いします。

### 💡 身近なことから始めませんか

- 「もったいない」意識の輪を広げ、使い捨て商品避け、長期的に使用可能な商品を選択する
- 再生品や詰め替え品など、環境に配慮した製品を積極的に使用する
- 簡易包装商品を積極的に選択する
- 衣類・缶・ビン・ペットボトル・プラスチック製容器包装は、資源物として分別を徹底する
- マイバッグ・マイ箸などを活用する
- 食材を使い切る、食べ残しを減らすなど、食品ロス削減に取り組む

## 🌱 家庭ごみ排出量実態調査モニター募集

ごみ減量やリサイクル率向上などに向けた施策を進めるため、家庭ごみ排出量を記録する実態調査とアンケートに協力できるモニター世帯を募集しています。

**モニター期間** 7月1日（土）～令和6年6月30日（日）

**内容** ● 可燃ごみ・不燃ごみ・プラスチック製容器包装の排出量を計量し、月に1回環境対策課へ報告※計測用はかりを貸与します。  
● 市からのアンケートに回答

**対象** 市内在住の世帯

**定員** 先着500世帯

**費用** 無料※協力期間に応じて謝礼（6カ月連続報告：クオカード1,000円分、12カ月連続報告：2,000円分）を贈呈します。

**申込** いばらき電子申請の登録フォーム（利用者登録が必要です）か、申請書に住所、氏名、電話番号などを記入し、次のいずれかの方法で  
▶ 直接：環境対策課へ持参（市役所開庁日のみ）  
▶ 郵送：〒302-8585 寺田5139 環境対策課リサイクル推進係宛

※消印有効

▶ ファクス：73-5995

▶ メール：kankyo@city.toride.ibaraki.jp

※申請書は、環境対策課、藤代総合窓口課、取手支所、取手駅前窓口、各公民館、市ホームページから取得可

締切 5月31日（水）

